2023年5月 Vol.125

特集

○ 令和5年度
経営(事業)計画

●令和4年度 満足度調査結果報告
●入社・辞令交付式、永年勤続表彰式
●新任職員研修

しあわせを咲かせて生きる。

さつき

satsuki

SATSUKIKAI

令和5年度 経営（事業）計画（第50期）

第6次中期経営3か年計画 基本方針

良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る

令和5年度 全事業所職場目標

『一人ひとりの成長、チームの力、ICTを活用し、ケア・サービスの質向上と職場環境改善を図る』

【一人ひとりの成長】

さつき会の持続的発展は、一人ひとりの職員の存在と成長なくしてあり得ない。一方、人の成長は、「これでいい」と思った瞬間や、「忙しい・無理・大変」という言葉を発することで、自らの思考が鈍化したり、考えることをやめた瞬間に止まるとも言われている。職業人としてプロ意識を持ち、謙虚に周囲の意見に耳を傾け自己を振り返り、前向きな思考と向上心を持って、業務推進と改善活動に努める。

【チームの力】

人間は弱く、脆く、時に失敗や過ちを犯す生き物でもある。自分の強み・持ち味を最大限に生かし、短所や弱点は互いに補い合い、互いの成長を刺激し合いながら、相乗効果でチームの力を高めて、個人では実現できない目標や価値をチーム全体で創りだすことに努める。

【ICTの活用】

利用者の真のニーズはどこにあるのか、福祉介護従事者が社会から求められていることはなにか、そういった課題に向き合うには一定の時間が必要である。さらに、新たな試みや挑戦をするには、情報収集する、考える、人と意見を交わし合う、計画するなど一定の時間が必要である。「ケア・サービスの質向上と職場環境改善を図る」ためにICT・介護ロボット・OA機器を大いに活用して、業務の効率化・生産性向上に努める。

令和5年度 事業活動のポイント

① 多様な人材採用・次世代経営幹部候補育成・中核人材育成と安心・希望を持ち長く働ける職場環境の整備

①新規学卒者及び転職希望者を対象とした、合同企業説明会に参加するとともに、法人独自の入社説明会・インターンシップを開催する。また、若手職員を巻き込みながらSNS・オンラインによる法人の魅力発信を日常化し、LINE・オンライン等による求職者からの質問・申込みに対応する。
②プロフェッショナルな介護従事者の安定確保を図るため、外国人介護福祉人材の確保を図り、定着・育成の支援体制づくりに着手する。
③アクティブシニアの就労・生涯活躍と介護の仕事のイメージチェンジを図るため、鷹栖町との連携による「介護の入門的研修」の実施及び介護以外の仕事を担当する「ケアアシスタント」の採用及び定着支援を推進する。
④利用者本位の福祉・介護サービスを担う人材を育成するための教育プログラムを階層別<新任職員（入社時研修・フォローアップ研修）、総合職研修、専門職研修、専任職研修、リーダー研修、管理者研修、経営職研修>に体系化し、年間計画をもとに定期的な研修を実施する。
⑤定期面談において部下が考える不安や悩みを聞き、安心して働けるようサポートする。また、部下が考える目標、上司が期待する目標を相互に確認した上で、その期の個人目標を設定し、部下・上司ともに成長の機会とする。令和5年度は、一般職2級を除く常勤全職員が実施する。
⑥対人援助による感情労働の職種が多い事業特性を踏まえて、メンタルヘルス研修の実施、有給休暇・リフレッシュ休暇の取得推進を通じて、安心と希望を持ち長く働ける職場環境の整備を図る。
⑦さつき会の持続的発展と組織風土の活性化を図るため、経営者と対等な視野・視座・視点を養い、「ケア（サービス）・人材・チーム・財務・情報・地域」をマネジメントできる次世代経営幹部候補の育成を図る。
⑧さつき会の経営理念・ビジョンに共鳴・共感し、さつき会をより良くするために、主体性を持って行動する中核職員を育成するために「さつき会の未来を創るネクストリーダー研修会」を実施する。
⑨「介護職員処遇改善加算」「特定介護職員等処遇改善加算」「介護職員等ベースアップ等支援加算」を活用し、一定の経験と資格と技能を有する者、指導的役割を担う介護職員、介護職員以外の職員等に対して処遇改善を図るとともに、キャリアパスと給与制度の見直しに着手する。

② 介護ロボット・ICT・ノーリフティングケア等の活用と業務の可視化による職場環境改善

①介護従事者の事務・記録作業の軽減・科学的介護の推進・職員間のコミュニケーション活性化・介護従事者の魅力の向上を図るために新介護情報システムを活用し、業務の合理化・効率化を推進する。
②組織横断的な「ICT推進プロジェクトチーム」を常置し、職員への効果的な情報提供、タブレット端末・パソコンなどの電子機器の活用を推進する。
③介護ロボット・ノーリフティングケア等を調査・研究、導入・試用・活用を通じて、転倒・転落リスクの減少、職員の腰痛予防対策など、利用者と職員ともに安全・安心なケアを提供する。
④有限の職員体制においてサービスの質の維持・向上を図るために、全ての職員が「仕事の見える化」（業務の可視化）を行い、業務の効率化と改善の基礎資料を作成する。

③ 利用者・家族・地域住民の健康・生きがいづくりと良質高度なチームケア（サービス）の提供

①ケアの仕事の原点は、利用者の笑顔と元気が見られることである。短時間でも効果のあるアクティビティを取り入れ、利用者と職員がともに笑顔になれる時間を意図的・計画的につくり、それらをケアの仕事で得られる魅力として、アクティビティ委員会・若手職員等が中心となりながらSNSを活用し定期的に発信する。
②全ての介護職・看護職・医療職は、高齢者ケアに関わる基礎原理と最新理論を学習・共有し、科学的裏付けに基づいたケアを実践する。
③施設・在宅部門において、トータルケアシステム（多職種協同による重度化対応・重症化介護予防の仕組み）を運用し、最適化したケアの提供と重症化予防に務め、できるだけ最期まで鷹栖町内で穏やかで笑顔のある暮らしを支援する。
④特別養護老人ホームにおいて、入居者の口腔衛生・口腔機能の維持・向上を図るため、歯科衛生士を講師とする定期的な研修、歯科衛生士による口腔ケア及び介護職員・看護職員・栄養士へ技術的助言・指導する体制を整備する。
⑤自立度の高い方から嚥下・摂食障害のある方まで、「より美味しく、より安全に食べること」を実現するため、介護・看護・栄養・調理員、委託業者が一体的になり食事サービスの質向上を図るとともに、適正な予算の下に給食サービス業務が行われるよう業務の効率化・省人化を図る。
⑥鷹栖町内で高齢者介護に関わる情報と知識・技術を一番持っている強みを生かし、職員が地域へ出向き介護講座やサロン（地域の茶の間）の開催や、地域の集会などへ積極的に参加することで地域との交流を図る。その活動により地域住民に「高齢期における健康・介護リスクと予防法」についての理解を深めていただくと共に、職員自身が地域を知り地域を学び安心できる地域づくりの貢献を図る。
⑦施設のマンパワーだけで利用者の暮らしを豊かにする、災害時の安全を守ることは困難を要するため、地域住民やボランティアを利用者のQOL向上（生活の質向上）を図るための「協力者」として、更なる意見・協力を得て共に活動する。
⑧施設が平常時から災害時まで、安心・快適に暮らせる場となるために、施設設備や環境のプライバシー・快適性・安全性・居住性を十分配慮し、定期的なチェックとメンテナンスを遂行する。さらに、災害・感染症の業務継続計画（BCP）を策定し計画に基づいた研修を実施する。
⑨今後、特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑が、さらなる安全性・快適性と施設機能の向上を図るとともに、法人が健全かつ安定した経営を維持していくために必要となる改築・増床等の基本構想の策定に着手する。

④ 適正利益の確保と内部統制の強化

①居宅・通所・訪問・小規模・短期入所の在宅サービスは、前期高齢者の需要増が見込まれる事業である。団塊世代のニーズを満たす魅力ある事業所づくりと新規利用者獲得のための町内外の地域機関・医療機関への営業・PR活動を拡充し、利用者数の増加と稼働率向上を図る。
②光熱水費・食材料費・オムツ代などの仕入価格の上昇が加速し、介護保険制度創設以来の最大の事務費・事業費となっている。消耗品の低価格への切り替え、まとめ買いでの割引交渉、節電の徹底などアイディアを出し合い経費削減を図る。
③社会福祉法人は、公益性の高い法人であり法令遵守、不正防止、組織統治、業務の効率化が要求されている。「人に仕事がつくのでなく、仕事に人がつくようになる」ために、ルール（マニュアル、手順書、チェックリスト）を整備し、業務の標準化を図る。
④部門間の人事異動及び課内の配置転換（ジョブローテーション）を積極的に実施し、職員の能力開発・部門間の連携推進と業務の属人化防止を図る。
⑤各事業所に部門計画・活動計画の達成と適正収支差額（事業活動収支差額10%）を確保するために、各課長が予算管理（①計画と編成、②予算に基づく執行、③予算・実績の差異分析と評価、④改善活動への提案と実行）を実施する。
⑥全事業所において収益向上、及び収支改善を図り、法人全体の事業活動収入（委託費・補助金・雑収入除く）の10%を事業活動収支差額73,657千円）に掲げ、その運営管理（マネジメント）をつかさどる月次業績検討会議の活性化を図る。
⑦サービス需要及び業績に見合った要員計画を検討し、職員の適正配置、事業運営の効率化等を図ることにより安定した経営基盤の構築に取り組む。
⑧いかなる環境下においても、全ての事業所において「良いケア・良い職場・良い経営」の実現を図り維持するため、その羅針盤となる第6次中期経営3か年計画の推進に努める。

さつき会のサービスをご利用されている、ご利用者、ご入居者、ご家族の方を対象として、
各種サービスについての満足度を毎年調査させていただいております。
この満足度調査の結果をもとに、サービスの質の向上、ならびに改善につなげていきたいと考えております。

令和4年度 各施設満足度調査の結果（8施設）

※アンケート調査についての詳細はさつき会ホームページをご覧ください。

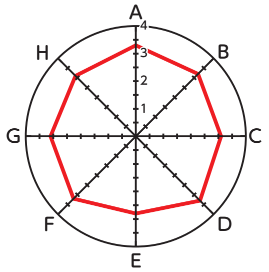
小規模多機能ホーム 鷹栖なごみの家

【満足度調査集計結果の総評】

「満足いただけるレクリエーションを目指して」

登録ご利用者22名中17名からの回答をいただくことができましたが、ご利用者ご本人からの聞き取りが難しい方も多く、無回答の項目もありました。今年度も、引き続きコロナ禍で、何かと規制の厳しい中のサービス提供となりました。例年課題となっていた「レクリエーション」については、コロナ禍でも楽しんで頂けるよう工夫をこらした取り組みを試みました。しかし身体機能の維持・改善については、やや良くないとの回答が47. 1%、職員の自己評価でもかなり低い結果となりました。次年度は共に満足できる充実したレクリエーションを計画し改善に努めたいと思います。今回の結果を踏まえ、サービス向上と改善に向けた取り組みを行い、ご利用者・ご家族の皆様にとって信頼され、満足していただける小規模ホームを目指して努力してまいります。　林崎　美紀

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



アンケート内容

A．送迎について
B．食事について
C．入浴について
D．排泄について
E．レクリエーションについて
F．職員の対応について
G．サービス全体について
H．センターの満足度について

―― ご利用者　回答数17人

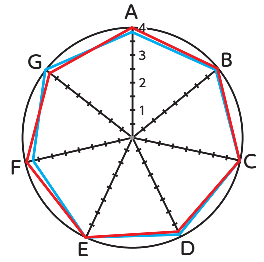
多機能型グループホーム 鷹栖なごみの家

【満足度調査集計結果の総評】

「常に互いの満足度を目指して」

ご入居者のアンケートについては、答えられる方は5名であり、短期記憶の低下により聞き取りをしている瞬間のことのみの回答となり、普段の状況や対応をどう思われているかは、やはりアンケートで知ることは非常に難しと感じました。ご家族アンケートでは、今年度も、新型コロナウイルス感染予防のため面会は玄関ホールや窓越しでの面会ではありましたが、「面会に行くたびに穏やかな感じをうけます」「コロナ禍で限られた時間の面会ですが、いい顔をしています」「毎月の便りで親の今の状況がわかりとても良いです」等、事業所内の様子を十分確認していただくことができていない中、大変貴重なご意見をいただきありがとうございました。最後になりますが、アンケートにご協力いただいた皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。　秋保　友美

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



アンケート内容

A．食事/生活環境
B．入浴/基本ケア
C．排泄/言葉づかい
D．行事/面会時の本人の様子
E．生活環境/相談のしやすさ
F．職員の対応/料金の妥当性
G．サービス全体/広報誌を見ているか

―― ご入居者　回答数 5人
―― ご 家 族　回答数13人

鷹栖町介護センター さつき苑

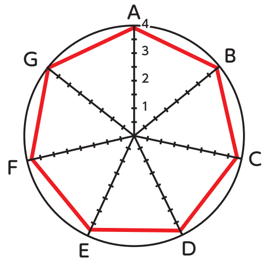
【満足度調査集計結果の総評】

「相談しやすい窓口を目指して」

全体を通して良い・やや良いとの評価を多くいただきましたが、やや悪い・悪いの方もおられるので、今後も介護相談の窓口として適切な対応ができるように気を引き締めていきたいと思います。介護保険制度や近隣のサービス事業所、地域資源等については常にアンテナを張り、最新の情報をお伝えできるように情報収集に努めていきます。相手の立場に立った相談への対応ができるように、知識と技術の研鑽に努め個々のスキルアップを目指していきたいと思います。また、日頃より話しやすい関係性を築き、ご利用者・ご家族の意見が取り入れられたケアプラン作成に努めていきます。相談して良かったと感じていただけるよう、より一層の努力をしていきたいと思います。調査にご協力頂きありがとうございました。

坂林　美幸

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



アンケート内容

A．身だしなみや態度、言葉使いはきちんとしていますか？
B．親身に話を聞いてくれていますか？
C．相談した時、満足のいく対応をしてくれていますか？
D．月1回必ず訪問か電話等で状況の確認をしていますか？
E．介護保険やサービスの手続きなどわかりやすく説明していますか？
F．あなたの意向や状況に配慮したケアプランを立ててくれていますか？
G．訪問時感染対策に配慮していましたか？

―― ご利用者　回答数128人

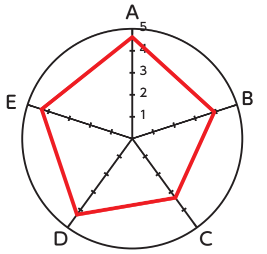
特別養護老人ホーム 鷹栖さつき苑

【満足度調査集計結果の総評】

「コロナ前の生活に戻り外出を」

今年度の満足調査はコロナ禍でご家族の面会もままならず、前年度「今の状況ではなにもわからない」というご家族の意見が多くあったため、ご入居者のみの調査とした。ご入居者9名（18%）の回答。その中で返答いただいた結果は、全体的には満足ではあるが、食事、接遇、設備に対し不満足な点があった。食事については、高齢者は噛む力が低下している方が多く全体的に食感が柔らかめのため、「もっとしっかりした肉が食べたい」という声があった。また、コロナ禍で面会制限しているのはわかるが、「家族に会いたい」「外出したい」という声が多かった。環境設備については建物が35年を迎え、冷暖房の不備やトイレの数について改善して欲しいという声があった。来年度はできる限りみなさまの声を介護に反映し、コロナ感染を防ぎ、外出行事やご家族と面会できる機会を増やし、楽しい時間が少しでも多く持てるようにしていきたい。今後とも家族のみなさまのご理解と協力を得ながらよりよい運営をすすめていきたいと存じます。　谷本　政美

ご利用者アンケート 各項目5段階評価



アンケート内容

A. 利用者本位
B. 基本ケア
C. 環境・楽しみ
D. 接遇
E. 総合

―― ご入居者　回答数 9人

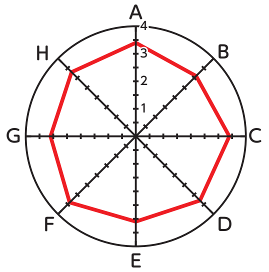
小規模多機能ホーム ぬくもりの家えん

【満足度調査集計結果の総評】

「魅力のある事業所を目指して」

今回の満足度調査は、20名のご利用者（ご家族）にご回答いただきました。令和4年度は少しずつですが外出行事を再開し、参加された皆様からご好評いただきました。しかしながら「レクリエーション」の項目では、令和3年度同様ご利用者の評価が職員の自己評価を大幅に下回っており、ご利用者のやりたいこと・興味のあるものに添えているか今一度内容を見直し、検討してまいります。「サービス全体」項目では”楽しい”という言葉がきかれる一方で”あまり楽しくない”との回答もいただきました。ご利用者・ご家族の皆さまにとって、魅力的で頼りがいのある事業所であるよう努めてまいります。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。　佐藤　晴美

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



アンケート内容

A．送迎について
B．食事について
C．入浴について
D．排泄について
E．レクリエーションについて
F．職員の対応について
G．サービス全体について
H．センターの満足度について

―― ご利用者　回答数20人

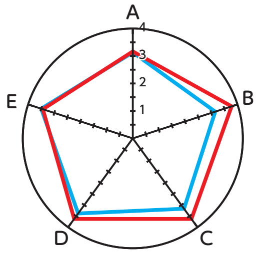
地域密着型特別養護老人ホーム ぬくもりの家えん

【満足度調査集計結果の総評】

「毎日の食事に満足!!」

この度は、満足度調査にご協力をいただきありがとうございました。ご家族12名、ご入居者9名、職員22名のアンケート結果から毎日の食事に満足されていると答えられたご入居者が100%であることが分かりました。彩りや味付けの良さ、1人ひとりに合わせた食事形態、食べやすい食器、できるだけ常食に近い形で召し上がってもらうことを目標に取り組んできた成果でした。また、課題もありました。利用者本位の項目で不満と感じていらっしゃるご入居者2名いることが分かり、その方の思いを確認、職員全体で内容を周知、改善に向けて取り組んでおります。今後もみなさまの思いを大切にし、住み慣れた地域で安心した暮らしが守れますよう努めてまいります。　松原　美咲

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



アンケート内容

A. 利用者本位
B. 基本ケア
C. 環境・楽しみ
D. 接遇
E. 総合

―― ご入居者　回答数9人
―― ご 家 族　回答数12人

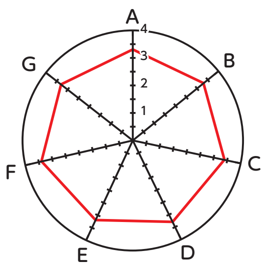
鷹栖町デイサービスセンター はぴねす

【満足度調査集計結果の総評】

「昨年度よりも高い満足度に!」

今回の調査では、全体を通して昨年度より満足度が高い結果となりました。特に、昨年度課題としてあげられた「レクリエーションは楽しめている」の男性満足度が向上していました。これは、男性参加率の高い「パークゴルフ」を積極的に行ったり、新しく「体を動かすプログラム」を導入したことが要因としてあげられます。また、職員の対応に関しても高い満足度を得ることができました。サービス提供内容の統一などで苦労することもありましたが、その都度職員同士で話し合うことで、よりよいサービスを提供することができた成果であると考えます。今後もご利用者が楽しみながら主体的に運動ができるような環境設定や声掛けを行い、ご利用者の「元気を創る」デイサービスとして運営していきます。　大河原　和也

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



アンケート内容

A．送迎
B．食事
C．入浴
D．排泄
E．レクリエーション
F．職員の対応
G．サービス全体

―― ご利用者　回答数67人

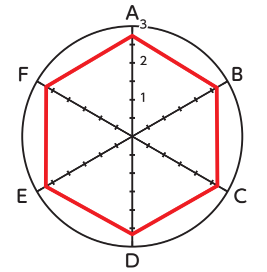
鷹栖町ヘルパーステーション さつき苑

【満足度調査集計結果の総評】

「生活援助での満足度向上を目指して」

決められたサービスの提供の項目に高評価をいただいています。礼儀の項目できちんとできていない、との評価もあり言葉遣いや話し方、表情なども含めて再確認し改めます。　ご意見・要望では人によって掃除の仕方が違い、細かいところができていない人もいるとのご意見をいただきました。掃除については毎年同様の意見があるため、訪問しているヘルパーで手順を統一できるように、研修会、会議で周知し速やかに改善します。　また、自立支援の取り組みとして、引き続きできる範囲の事は行っていただく、または一緒に行うことをご理解いただけるよう継続していきます。決まったヘルパーに訪問してほしいとの意見がありましたが、特定のヘルパーのみの対応は難しいことをお伝えし、ご理解をいただくことに努めてまいります。　伊藤　尚子

ご利用者アンケート 各項目3段階評価



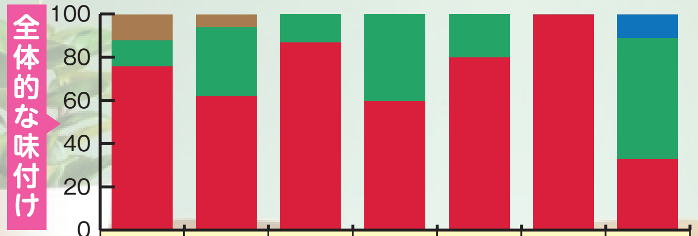
アンケート内容

A．決められたサービスの提供
B．礼儀・態度
C．ヘルパーを利用してからの気持ちの変化
D．プライバシーの順守
E．手際よく・丁寧なサービスの提供
F．今後のサービスの継続について

―― ご利用者　回答数81人

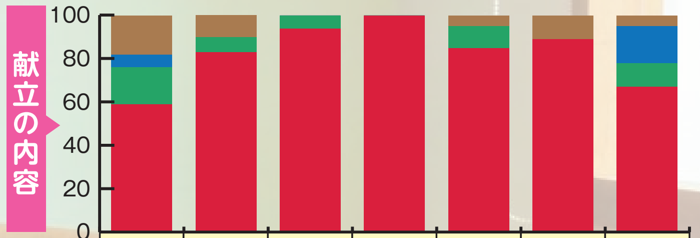
令和4年度 さつき会 食事サービス満足度調査 結果報告

全体的な味付け



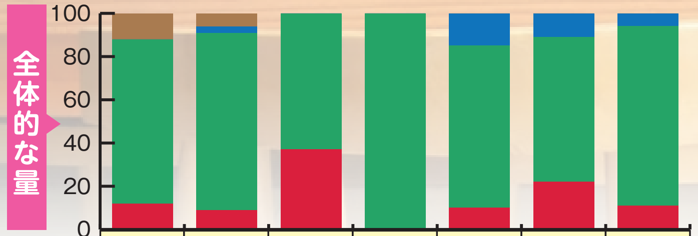
	特養さつき苑	デイサービス	SHなごみの家	GHなごみの家	SHぬくもりの家	特養ぬくもりの家	たかほ
おいしい	76%	62%	87%	60%	80%	100%	33%
普　通	12%	32%	13%	40%	20%	0%	56%
おいしくない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11%
無回答	12%	6%	0%	0%	0%	0%	0%

献立の内容



	特養さつき苑	デイサービス	SHなごみの家	GHなごみの家	SHぬくもりの家	特養ぬくもりの家	たかほ
満　足	59%	83%	94%	100%	85%	89%	67%
満足していない	17%	7%	6%	0%	10%	0%	11%
その他	6%	0%	0%	0%	0%	0%	17%
無回答	18%	10%	0%	0%	5%	11%	5%

全体的な量



	特養さつき苑	デイサービス	SHなごみの家	GHなごみの家	SHぬくもりの家	特養ぬくもりの家	たかほ
多い	12%	9%	37%	0%	10%	22%	11%
丁度良い	76%	82%	63%	100%	75%	67%	83%
少ない	0%	3%	0%	0%	15%	11%	6%
無回答	12%	6%	0%	0%	0%	0%	0%

各施設アンケート回答者数

特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑	入居者数50名	うち回答者 17名
デイサービスはびねす	利用者数75名	うち回答者 68名
SH鷹栖なごみの家	利用者数20名	うち回答者 16名
GH鷹栖なごみの家	入居者数18名	うち回答者 5名
SHぬくもりの家えん	利用者数22名	うち回答者 20名
特養ぬくもりの家えん	入居者数20名	うち回答者 9名
ぬくもりの家たかほ	入居者数18名	うち回答者 18名

（SH=小規模多機能ホーム・GH=グループホーム）

☆ 食事サービス満足度調査を終えて

今年の1月～3月、さつき会事業所のご入居者・ご利用者を対象に食事サービス満足度調査を実施し、皆様から沢山の率直なご意見・ご要望をいただきました。

結果は、「献立内容の満足度」については、昨年と比較し「似たようなメニューが多い」と感じられている方やご自身の嗜好と合わず、お食事に満足感を得られていない方が多く見られました。来年度は、皆様からのご意見を参考に、「新メニューの導入」や「季節を感じる食材」、「馴染みのある献立」などを取り入れた、バランスの良い食事の提供を目指します。

また、味付けに関しては、ムラがあるとの声が聞かれているため、栄養士・調理スタッフと連携し味付けの統一ができるよう改善に努めてまいります。

「全体的な食事量」については昨年度と概ね変わらない結果となりました。今後は食の細い方にも無理なく召し上がっていただけるような工夫や、体調に合わせた食べやすい食事形態を検討したいと思います。

今回皆様から頂いた声をしっかりと受け止め、さつき会の食事を通して心から元気に、そして楽しい時間を過ごしていただけるよう、一層努力してまいります。ご協力いただいた皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

管理栄養士　　己上　純子 ・ 鈴木　真弓

再開のご案内

詳細は「ぬくもりの家たかほ」にポスター案内を掲示しています。

★管理栄養士による「健康料理教室」★
5月19日（金）AM10:00～PM13:00

★地域食堂「ぬくもりカフェ」★
6月22日（木）AM11:30～PM13:30
ぬくもりの家たかほ内（あえーる）にて再開致します。

令和5年度　入社辞令交付式、永年勤続表彰式

今年は桜前線が記録的な早さで北上し、北の大地に育つ多くの桜が4月に開花を迎えました。

さつき会では、令和5年4月3日、春の桜色の日ざしの下で、入社辞令交付式及び永年勤続表彰式を行いました。木津理事長から7名の採用職員に辞令の交付が行われました。また、長きにわたりさつき会に貢献してきた永年勤続者8名に表彰状並びに副賞が贈呈されました。

佐藤　健一

20年表彰

鷹栖なごみの家	林崎　美紀
鷹栖なごみの家	津野　良江
鷹栖なごみの家	佐々木　美香
ヘルパーステーションさつき苑	高橋　早苗

10年表彰

鷹栖さつき苑	山内　美里
ぬくもりの家えん	林　由美
ぬくもりの家えん	有倉　広恵
ぬくもりの家えん	山元　洋子

「さつき会」に入社し二十年の月日が経ちました。この二十年を振り返りますと、入社当初は、介護の知識もなく、たくさんの失敗やご迷惑をかけたこと、多くの別れがあり「もっとできることがあったのでは…」「あの時こうすれば…」という多くの後悔もあります。しかしながら一番に思い出すのは、多くの出逢いや、たくさんの笑顔、喜びや充実感です。

上司をはじめとするさつき会の仲間、ご利用者、ご家族、地域の皆様に支えられながら、今日まで働けたことに感謝し、今後はこれまで身につけてきた知識や技術を次世代の育成につなげられるよう貢献すると共に、ご利用者が、この住み慣れた鷹栖町で最期まで、笑顔で元気に過ごせるよう尽力させていただきたいと思います。

林崎　美紀

新任職員研修

さつき会では新任職員を対象に、法人内のスタッフ総勢約20名が講師となり、7日間かけて社会人としてのマナーや医療・介護研修や地域福祉について学ぶ「新任職員研修」を行っています。初日はみなさん緊張した面持ちでしたが、最終日の研修報告会では、研修で学んだこと、これからの仕事に向けた決意、共に学んだ仲間と先輩職員への感謝を自分の言葉で伝えられるまで成長し、それぞれの現場へ出発しました！

大矢　敏之

◆寄付寄贈◆

令和5年1月21日～令和5年3月20日

《鷹栖さつき苑》

●フェイスタオル　ご家族　様

●フェイスタオル　婦人ボランティアクラブ一同　様

《ぬくもりの家えん》

●ご寄付　澁谷玲子　様

※お受けできない場合もございます。事前にお問い合わせくださいますようお願いいたします。

あったかすリハビリ体操通信

町内で行われている「あったかすリハビリ体操教室」についてご紹介します。今回は「15町内会体操教室」です。

ふらっとにて毎週水曜9時から10時、15町内会の方々が参加されている教室です。この日は60代から90代の男女8名が参加され、あったかすリハビリ体操や脳トレを行っていました。参加者からは「体操をして体調が良くなった」「みんなと話ができるのが楽しい」などの声が聞かれました。体操指導士の坪崎さんは「細かな指導よりも楽しさが第一なので、『楽しい』という声が一番嬉しい」と話されていました。体操開始前に雑談の時間を設けたり、健康講話やぼっちゃを取り入れるなど工夫されているとのことです。和やかで暖かい雰囲気の教室でした。

体操教室参加希望の方は、フィットネス倶楽部コレカラまでお問い合わせください。　理学療法士 大河原　和也 & リハ体操取材部

社会福祉法人さつき会 苦情受付対応実績

令和5年2月11日～令和5年4月10日

受付件数	1件
解決件数	1件
第三者委員対応件数	0件

新しいご入居者のご紹介

さつき苑　小山　タキ　様

さつき苑　木下　貞子　様

ぬくもりの家えん　湯本　剛　様

ぬくもりの家えん　馬道　幸子　様

編集後記

今年は雪解けも早く、季節はすっかり春となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、3月のWBCでは侍ジャパンが世界一となり、多くの感動をもらいました。チーム全員で同じ目標を掲げ、その目標達成のために各自が自分たちでできることを考え、実践する。そして、仲間を信じ、共に戦うことでこんなにも大きな喜びや感動を共有でき、周りにも大きな感動を与えることができることを目の当たりにしました。

今年度はそんな侍ジャパンを目標に、さつき会もチーム一丸となり、ご入居者やご家族に少しでも喜んでいただけるよう努めていきたいと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

和泉　千春

特別養護老人ホーム・デイサービスセンター
居宅介護支援事業
鷹栖さつき苑
〒071-1201 鷹栖町南1条3丁目2番7号
TEL (0166) 87-3321

多機能型グループホーム・小規模多機能ホーム
鷹栖なごみの家
〒071-1201 鷹栖町南1条1丁目1番20号
TEL (0166) 59-3321

地域密着型特別養護老人ホーム・小規模多機能ホーム
地域交流スペースふれあい茶ろん てくてく
ぬくもりの家えん
〒071-1249 鷹栖町9線4号5番地
TEL (0166) 87-5824

サービス付き高齢者向け住宅・フィットネス倶楽部 コレカラ
地域交流スペース あえーる
ぬくもりの家たかほ
鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑
〒071-1223 鷹栖町北野東3条1丁目7番1号
TEL (0166) 76-5037

◆ホームページ◆
さつき会　検索
http://www.satsuki-kai.jp

◆ブログも更新◆
さつき会ブログ　検索
http://blog.livedoor.jp/satsuki_kai/

発行責任者　波潟　幸敏